

## 【第11回松戸市都市公園整備活用推進委員会】議事録

日 時：令和3年1月25日（月）午前10時～11時25分

場 所：ウェブ会議（ZOOM）

出席委員：11名（別紙名簿のとおり）

事務局：街づくり部審議監、公園緑地課課長、公園緑地課課長補佐

21世紀の森と広場管理事務所長、所長補佐、街づくり課 他4名

傍聴者：1名（松戸市役所新館5階市民サロン）

### 議 事

1. 諮問について
2. 今後の審議の方向性について
3. その他

配布資料：議事次第、出席状況、松戸市都市公園整備活用推進委員会資料（第11回）

参考資料1. 新宿中央公園魅力向上推進プラン、参考資料2. 板橋区パークマネジメントガイドライン、参考資料3. 姫路市パークマネジメントプラン

### 議事内容

#### 1. 諮問について

##### 【事務局】

- ・ 今期の諮問事項について資料1を説明する。当初の予定では、市長から直接委員長へ諮問書をお渡しする予定であったが、緊急事態宣言を受けて開催方法をウェブ会議に変更したためできなくなった。
- ・ 諮問書の「1 諮問事項の（1）21世紀の森と広場におけるパークマネジメントプランの策定に関すること」について、昨年11月9日開催の第10回委員会において、「21世紀の森と広場パークマネジメントプランの基本的方向性」をまとめていただき、第1期の答申を市長に提出いただいた。
- ・ このパークマネジメントプランの基本的方向性を踏まえ、今回の諮問では「21世紀の森と広場」のさらなる魅力向上と、公園のみならず地域の魅力向上を目指し、具体的な施策や実施期間等を記載した「21世紀の森と広場パークマネジメントプラン」の本編の策定に向けて、引き続き委員会で検討をお願いしたい。具体的な内容として、基本的方向性でまとめていただいた内容をふくらませる作業になると考えている。
- ・ 「次第（2）今後の審議の方向性において」では、事務局にて作成したパークマネジメントプランの構成案を説明する。
- ・ 諮問書の「1 諮問事項の（2）新たなマネジメントシステムの構築、推進に向けた民間事業者等との連携体制の検討に関すること」と、「資料2 今後のスケジュール案」も併せて説明する。
- ・ パークマネジメントプランの基本的方向性で提言いただいた、市民や民間事業者など多様な主体が参画する新たなマネジメントシステムの構築・推進について、具体的な手法としてPark-PFI制度や指定管理者制度等の活用を想定している。

- ・「21世紀の森と広場」は、令和5年に開園30周年を迎えることから、リニューアル、リスタートの意味も込め、現在事務局では令和5年4月から新たな管理運営体制への移行することを検討している。
- ・今期の委員会においては、市民や民間事業者など多様な主体が参画する新たなマネジメントシステムについて、具体的な体制構築に向けた討議・検討をお願いしたい。
- ・諮問書の「3 答申を希望する時期」について説明する。「1 諮問事項（1）21世紀の森と広場におけるパークマネジメントプランの策定に関する事」については、現在の委嘱期間の終了にあわせて、令和4年6月を目途をお願いしたい。
- ・「1 諮問事項（2）新たなマネジメントシステムの構築、推進に向けた民間事業者等との連携体制の検討に関する事」について、開園30周年となる令和5年4月から新体制へ移行する場合、現在考えられる最速のスケジュールとなる。令和5年4月からの移行を目指し、スケジュールを逆算すると、令和4年度中に運営事業者の募集・選定を行う必要がある。さらに、事業者の募集に向けて市役所内部の事務手続きがあるため、令和3年12月を目途に答申をお願いしたい。

## 2. 今後の審議の方向性について

### 【事務局】

- ・今後の審議の方向性について、資料3を説明する。昨年11月に答申としていただいたパークマネジメントプランの基本的方向性を基に、事務局にて追記した。
- ・3ページでは、基本的方向性の中でまとめていただいた「今後検討すべきパークマネジメントプランの構成や内容」である。全体的な方向性として、この内容を具体的に審議いただきたいと考えている。
- ・4ページ以降が、基本的方向性に追記したものとなる。まず、プラン策定の背景と目的では、今後の社会情勢の変化等を随時追記していく部分と考えている。特に新型コロナウイルス感染症に関する部分やライフスタイルの変化の部分は、まだまだ大きく変化していくものと考えている。
- ・6ページは基本的方向性をそのまま示している。今後のプラン策定作業において、一番下の管理運営の基本方針を、具体化していく作業がメインとなると考えている。
- ・7から11ページは「21世紀の森と広場」の現状をまとめた部分で、来年度以降実施するアンケート調査などを反映させる作業となると考えている。
- ・12ページ以降が具体的な検討を進めていく部分であると考えている。将来像の設定として「21世紀の森と広場」をこれからどのような公園にしていくのか、市民や民間事業者なども含めて、パークマネジメントに関わる全ての人が目指す内容となるもので、基本的方向性を肉付けし、全ての人がイメージを共有できる様なものを作っていく必要があると考えている。
- ・13ページの前半にプランの期間と目標設定を示している。期間については、諮問事項の中で説明したとおり、令和5年4月をスタートとし期間は10年間としている。目標については、この後のページに記載している主要な施策・取り組み内容により変わるため、取り組む内容が具体的に決まってきた段階で検討する。
- ・13ページ後半にプラン策定のための検討の視点を示している。12ページの将来像検討と同様に、パークマネジメントに関わる全ての人が同じイメージを共有できるように、具体的な内容を検討していく部分であると考えている。
- ・14ページ以降に、実際に取り組んでいく施策を示している。I公園の魅力を高める施

策、Ⅱ多様な機能で地域の魅力を高める施策、Ⅲ多様な主体が協働する新しいマネジメントシステムの構築と実践、という3つの柱を立て、それぞれの柱の中で詳細な施策の内容を示している。この中で、14ページ中段の「I-3多様な利用機会を発掘し、それに呼応する施設を検討する」の項目の中にある「ペットと一緒に楽しめる空間づくりの施策」に関して、現在松戸市では「高齢化社会を支える地域共生社会の実現」を目指し、高齢者の生きがいといった観点から「ペットとの共生社会の実現」が重要課題となっている。「21世紀の森と広場」は、ペットの入園を禁止しているものの、「ペットを連れて入園したい」という要望も寄せられており、これまでの方針を見直すべきかを審議いただきたい。

- これからパークマネジメントプランの策定について検討いただくにあたり、完成形のイメージを共有できた方が審議をスムーズにできると考え、参考資料として他の都市で策定されているパークマネジメントプランをお送りした。
- 姫路市パークマネジメントプランは、昨年6月に策定された比較的新しいプランである。昨年6月の策定であり、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う社会の変化や、これまで当委員会でも挙がっていたシビックプライドやサードプレイスといった新しい言葉も使われている。内容だけでなく、構成やイラスト・写真の使い方など、こちらのプランが最も完成形のイメージに近いと考えている。
- 板橋区パークマネジメントガイドラインでは、全国的な参考事例を写真付きで紹介しており、読者が将来像をイメージしやすい構成となっている。また、具体的な取り組みとして、コーディネート組織の導入について記載されており、「21世紀の森と広場」における新たなマネジメントシステムの構築の参考になると考えている。
- 新宿中央公園魅力向上推進プランは、「21世紀の森と広場」と同様に一つの公園でプランを策定している事例である。一つの公園のプランであることから、公園の歴史や成り立ち・現況・将来像について、掘り下げて具体的に記載されている。また、公園をエリアで区切り、各エリアの特性に応じた施策が記載されている。新宿中央公園は、平松委員が所属される公園財団を代表とする共同体が指定管理を行っており、これまで当委員会において取り組みの内容を紹介いただいている。

#### 【委員長】

- 今回の任期での審議の進め方について、私から一つ提案がある。前回の任期では諮問事項が4つあり、それぞれに応じて専門的な視点から議論いただくため、4つの部会を立ち上げた。今回の諮問事項は「パークマネジメントプランの策定」という大きな枠組みの諮問であるため、これまでのように4つの部会で個別に審議するのではなく、ワーキンググループを中心として検討を進めてはどうか。
- パークマネジメントプランの策定のため、パークマネジメント戦略検討部会のメンバーが中心になる。ワーキンググループには固定のメンバーを置かず、その時々委員会の進捗状況や検討内容により、専門分野に応じて委員の方々に出席いただくのが良いのではないかと考えている。

#### 【委員】

- 委員長が提案された方式は効率的であり、そのように進めていただきたい。その際、情報を共有化することについてどのように考えるか。

#### 【委員長】

- 委員間の情報の共有化は重要である。情報を共有化せずに委員会を進めることは出来ない。ハードな部分は具体的に検討していないが、委員が同時に情報を共有できる様になりたい。

**【委員】**

- ・パークマネジメントプランを検討するために、アンケート調査を実施するとのこと。このアンケート調査は、昨年度実施したものと異なる内容なのか。

**【事務局】**

- ・一昨年実施したアンケート調査は公園利用者に限定して調査したものであり、今回のアンケート調査は、公園に来られていない方を対象とすることを想定している。なお、予算上、実施が決定したものではない。

**【委員長】**

- ・公園に対する潜在的なニーズ把握調査ということであろう。

**【委員】**

- ・委員会開催方式について、新型コロナウイルスの感染症対策として、ウェブ会議方式を採用しているが、これが収束した後も、ウェブ会議方式は委員間の情報共有の方式として考えられるのでは。

**【事務局】**

- ・今まで部会はウェブ会議方式で実施し、今後も継続する考えである。現在、ZOOMを用いているが、他に有効な方式が無いか検討する必要がある。委員会に欠席した委員への情報共有化や意見出しの機会を検討しなければと考えている。

**【委員長】**

- ・効率的に情報発信できる方法を考える必要がある。委員の皆さんからも情報提供を求める。なお、令和5年4月から新体制へ移行する計画とのこと、その前段階としてそのプロセスのコンテンツに関して、ワーキンググループで議論し反映していきたい。

**【事務局】**

- ・令和5年4月から新体制へ移行する工程は、事務局案として最速のスケジュールであり、必ずしも決定している訳ではない。

**【委員長】**

- ・委員会の調整とコンテンツの調整をとる必要があるため、事務局側から委員会に、その都度課題として提示してもらうことで了解してもらえるか。
- ・令和5年4月を目途として作業を進めることで、委員の皆さんは了解いただけるか。  
(委員全員がうなずき了解される)
- ・委員会は、新体制の検討とサウンディング調査という2つの課題があり、どちらも重要であり、スピード感を持って対応する必要がある。

**【委員】**

- ・サウンディング調査の今後のスケジュールについて、事務局からの説明を求める。

**【事務局】**

- ・先ほどの説明にてスケジュールについての説明が不足していた。民間事業者との連携体制を検討するため、令和3年度にサウンディング調査を実施する予定である。この調査内容について、委員会においても共有していきたいと考えている。

**【委員】**

- ・このサウンディング調査は、委員会に置いて協議する内容と考えてよいか。

**【事務局】**

- ・委員会において検討していただきたいと考えている。なお、年度が明けないと新たな予算が確定できないため、この工程はかなりタイトであると認識している。委員の皆さんに随時情報発信し、意見を反映していきたい。

**【委員長】**

- ・サウンディング調査を実施した結果を取りまとめる時間が必要となる。このため、事務局から効率的に情報提供してもらいたい。

**【委員】**

- ・参考資料として他の公園の事例が示されている。パークマネジメントプランは、本公園の独自性が高いものであり、その内容に関して早く情報提供してもらいたい。

**【事務局】**

- ・先般、千葉市に先進事例ヒアリングを実施した。サウンディング調査は、その状況により成果が大きく左右されるため、千葉市では調査結果が市の意向に見合った内容ではなかった。最近では、民間事業者がサウンディング調査疲れしており、なかなか成果となりづらい状況にあるとも聞いている。このため、民間事業者にとって魅力ある条件や資料を提供し、民間事業者とイメージを共有できるようにしたい。

**【委員】**

- ・サウンディング調査について、調査をやりっぱなしにするのではなく、委員会で対応することが重要である。サウンディング調査の民間事業者は、商売をしている方だけではない。

**【事務局】**

- ・サウンディング調査を進めるうえで、委員会にて協議いただくことにより、調査が完了してしまうかもしれない。委員の皆さんは知見を有されているため、サウンディング調査前に意見をうかがいたいと考えている。

**【委員長】**

- ・サウンディング調査に詳しい委員が多く、委員会で、まず動き出すことが良いであろう。よろしく願います。

**【委員】**

- ・サウンディング調査の結果は、「21世紀の森と広場パークマネジメントプラン」本編に生かすことが出来るのか。

**【事務局】**

- ・「21世紀の森と広場パークマネジメントプラン」本編の基本的な構成については変更しないものの、ブラッシュアップすることは可能である。

**【委員】**

- ・「21世紀の森と広場パークマネジメントプラン」本編として、資料3 3頁の(1)課題の抽出、(2)枠組みの設定、(3)目標の設定検討という構成でいいのか。また、課題の抽出は、事務局から提示されると考えていいか。

**【事務局】**

- ・事務局が用意した事項に対して、委員の皆さんの意見を反映することとなる。ここに示す内容が、すべて課題として対応するか否かは分からない。事務局にて再考する。

#### 【委員長】

- ・委員会においてすべて検討することは無いであろう。なお、サウンディング調査とこの課題とは切り離して考えるべきである。課題抽出は、委員会として重要な役割と考える。この内容については、事務局にて検討することをお任せしたいと考えるがよろしいか。

(委員全員がうなずき了解される)

#### 【委員】

- ・資料3 14頁「I-3 多様な利用機会を発掘し、それに呼応する施設を検討する」の項目の中にある「ペットと一緒に楽しめる空間づくりの施策」に関して、以前のアンケート調査において、この要望が示されていなかったと思う。なぜ、この事項を新たに取り上げるのか。この施策の検討は本日はなく、後日検討した方がいいのではないか。

#### 【事務局】

- ・ペットと一緒に楽しめる空間づくりに関して要望が出ており、パークマネジメントプランにおいてご検討いただきたく、今回、事務局から特段に取り上げている。

#### 【委員長】

- ・課題として、ペットと一緒に楽しめる空間づくりの件が、大きく取り上げられているが、パークマネジメントプランの課題としては、それ以外も多くあると考えている。
- ・本日は審議の方向性など、多岐にわたりご意見をいただいた。本日審議いただいた内容に基づき、今後の委員会で検討・協議を進めていきたいと考えている。

#### 【委員】

- ・パークマネジメントプランは、今後の委員会で検討を進めていくため、具体的に実施体制がどのように実施していくかが薄く、この辺の仕組み部分を検討してもらいたい。
- ・コロナ禍にあり、民間事業者の指定管理者は危機的な状況にある。地域コミュニティを公園が支えていく必要があり、コロナ禍だからこそ拠り所となる公園のあり方を示すべきである。

#### 【委員長】

- ・事務局から、姫路市の事例が松戸市のパークマネジメントプランにフィットするとの発言があった。この事例一つだけ取り上げては、先入観を与えるのではないか。あくまでも他市の事例は参考資料であり、松戸市のパークマネジメントプランは独自性ある計画を策定していく必要がある。

#### 【事務局】

- ・あくまでもパークマネジメントプランの策定にあたり、その視点、社会情勢、見せ方、説明の仕方が参考となると考えを示したに過ぎない。姫路市の事例にこだわっている訳でもなく、高く評価している訳でもない。あくまでもイメージを共有するための手段であると考えている。

#### 【委員長】

- ・最後に議事(3) その他について、事務局から何かあるか。

#### 【事務局】

- ・次回の委員会は3月下旬を予定しており、日程については後日改めて調整させていただく。基本的に参加いただいて開催する予定であるが、新型コロナウイルス感染の状況によっては、今回と

同様にウェブ会議による開催になるかもしれない。

**【委員長】**

- ・以上で委員会を閉会する。

以上